

「新しい学力」測定・総合アセスメントテスト

学びみらいPASS

教員用ガイド

【解説編】

CHAPTER①

学びみらいPASSとは

開発の背景・コンセプト	1
テスト構成・内容	2
ジェネリックスキルとは	3

CHAPTER②

受験結果の解説

個人結果の概況	5
「学力の3要素」と「志向性」	6
「学力の3要素」を読み解く	7
「志向性」を読み解く	8
校内集計結果一覧	9

【指導編】

CHAPTER③

指導の展開例

はじめに	10
ワークシートを使った指導展開例	
初回受験版	11
2回目（以降）受験版	14
面談指導の展開例	18
「学力の3要素」パターン一覧	19
タイプ別指導例	20

指導展開例

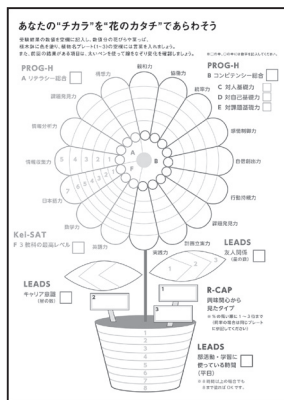
1. 自分の結果を可視化する

ねらい

- 生徒が「学力の3要素」の構成概念を知るとともに、自分の現状のバランスを理解する
- 自分の「志向性」に関する結果を振り返り、自分の現状と未来について考えるきっかけを提供する

用意するもの

- 花のワークシート
- 報告書PDF
- ジェネリックスキルまるわかりガイド



展開例 (30分)



- **ワークの意義を説明**
結果は報告書に書いてあるのになぜわざわざ結果を書き出す必要があるのか、その意義を伝えてください。
→自分の結果を振り返ることは何事においても重要です
→自分のバランスを視覚的に捉えましょう
Point: “花の大きさ”よりも“花のカタチ”のほうが重要です!
→手を動かすことでより理解が深まります
- **シートの記入**
自分の報告書を見ながらシートを記入させてください。
- **結果を友だちと見せ合おう**
見比べながら行うことで、より興味を持って調べたり、お互いの強みを承認しあうことが大切です。
→花のカタチをお互いに見比べてみましょう。自分と似ている? 全然違う?
→お互いの一番大きな花びらの力はどんな力なのか、「ジェネリックスキルまるわかりガイド」を開いて調べてみましょう
→興味関心からみたタイプも、お互いに見比べてみましょう
- **これからどうするかを考えよう**
どんな花のカタチを目指すか考えさせてください。
Point: 満開にすることが正ではなく、自分のなりたいカタチを考えさせましょう。そのためには自分の将来について見通しを持たせることが重要です。

指導展開例

2. 自分の現状を把握し、未来を考える

ねらい

- 「学力の3要素」について自己認知と結果を比較することで、自己理解を深める
- 「職業」について興味を引き出すとともに、自分の未来に対してアクションプランを立てることで、より目的意識を持った高校生を送る動機を形成する

用意するもの

- 自分の現状把握ワークシート
- 記入済みの花のワークシート
- 報告書PDF
- ジェネリックスキルまるわかりガイド



展開例 (40~50分)



- **ワークの意義を説明**
自分を知る、そして未来を考える、そのうえで今日からできることをひとつ宣言するワークです。
Point: 自分の未来は自分で切り拓こう!
- **① “花のカタチ”を見てみよう**
花のワークでは強みを中心に考えましたが、今回は弱みも把握させます。またこれまでの経験を振り返ることで、自分の強みと弱みに対する納得感を高めさせてください。
→成功体験や失敗体験を振り返ってみましょう
→リテラシーとコンピテンシーをわけて考えます。ここで改めてそれぞれの力についてもおさらいしておきましょう
([ジェネリックスキルまるわかりガイド] P.10, P.17参照)
- **② 職業について考えてみよう**
具体的な職業と必要な知識・学問を考えさせることで、高校や大学での学びの必要性を感じさせてください。
→職業名から必要な知識が導き出せない時はR-CAPの「仕事/学問カタログ」などを使って調べましょう
→時間がある時は、そこで活躍している人が持ち合わせているようなリテラシーやコンピテンシーを想像してみましょう
- **③ 今後の行動計画を立てよう**
自分の将来を具体的にイメージさせ、強みを伸ばすのか、弱みを補うのか、今日から何をやるか、を宣言させてください。
Point: 生徒が宣言した行動計画に対し、定期的なフォローを入れてあげられるとよいでしょう。

※上記の花のワークを行っていることが前提となります。もし実施できない場合は自宅で記入させてきたうえで、このワークを実施してください。

部活動に命をかける！ お祭り大好きタイプ

勉強はいまいちだけどにくめない、クラスの人気者。お祭り騒ぎが大好きで、授業中は静かだが文化祭や体育祭では大活躍するタイプ。



特徴

- ✓ 調べものや一人で思考することよりも、身体を動かすほうが好き
- ✓ 部活動や友人との関係構築は円滑で学校生活を楽しんでいる
- ✓ 問題が起きたときに積極的に関わったり、学校行事等も自ら盛り上げていく
- ✓ 周りに頼りすぎて1人では決断できないことも
- ✓ 今が楽しい分、将来に対しての意識が希薄なことも

出やすい志向性タイプ

- 1位：今が楽しい「交友充実」
2位：何事もほどほどの「進学準備中」

STEP.1 注意項目

志向性で注意すべき項目

時間の使い方	友人関係	自尊感情	キャリア意識
💡			💡

これらが低いとこんな影響も…

- 時間の使い方
時間の使い方が極端な可能性あり
(部活だけ多く、勉強時間なし等)
- キャリア意識
目の前の楽しいことに夢中になり、自分の将来についても“とりあえず”“なんとなく”で決めてしまう恐れあり

特にここに要注意！

- コンピテンシーの対課題基礎力
「楽観主義タイプ」の傾向が強まります。
対課題基礎力が低い生徒は、特に目標や課題までの距離感を測ることが少し苦手なため、途中で投げ出してしまうこともあるかもしれません。
日々目標もけて進んでいることを、実感させてあげる必要あるでしょう。



⇒ これらを踏まえ STEP.2 へ

STEP.2 指導上のポイント

STEP.3 生徒への問いかけ

まずは目標の設定から

- ✓ 将来やりたいこと、進路を意識させ、学習へのモチベーションをアップさせる
- ✓ 友人や先輩、先生など人を巻き込んで行動させるのが向いている
- ✓ 目標に向けてきちんと努力することができるので、目標の設定とそこへのプロセスを定めていくような面談が効果的

自分の強みってなんだろう？

- ✓ 進路について考え始めていますか？
- ✓ 将来やってみたい仕事はありますか？
- ✓ (今回の結果から) こういうところに強みがあるようですね。思い当たる場面はありますか？
- ✓ 今後強みを伸ばすにはどうしたらよいと思いますか？
- ✓ 勉強のモチベーションをあげるには、どうすればよいと思いますか？

STEP.4 指導詳細①

STEP.5 指導詳細②

「やる気スイッチ」の洗い出し

- ✓ 今回の結果から、ジェネリックスキルまるわかりガイドを使い、自己分析のワークをさせる
- ✓ 行動してみて興味を知る (P.20補足①参照)
- ✓ 直近の定期テストに対する目標得点を先生や保護者と共有する。目標と結果の違いについて考えさせる。

定期的に方向性の確認を

- ✓ 「スイッチ」が入れば自ら行動できる資質あり
- ✓ 「スイッチ」が入れば、基本的に任せてしまってもよいが、以下のポイントを定期的に確認すること

- 生徒のよさが失われていないか
- 頑張りのベクトル(方向性)がずれていないか

⇒ 様子を見つつ、適宜方向修正をしてあげることが必要

